第48回福井県老人クラブ大会

のばそう！　健康寿命、担おう！　地域づくりを

一般財団法人 福井県老人クラブ連合会

【メインテーマ】

のばそう！ 健康寿命、担おう！ 地域づくりを

＜健康寿命＞

〇健康寿命をのばし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指します。

〇仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。

＜地域づくり＞

〇他世代や関係団体と連携し、安全･安心の住みよい地域づくりを目指します。

〇元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。

「第48回福井県老人クラブ大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。
予定しておりました内容は以下のとおりです。

第48回福井県老人クラブ大会開催要綱

1．メインテーマ

のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

2．趣　旨

少子高齢化や人口の減少、加えて地域のつながりの希薄化が問われるなか、私たち老人クラブは、共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指し、地域の様々な組織と連携しながら、健康づくりや介護予防活動、高齢者相互の支え合い活動や見守り活動に取り組んでいます。今日の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という状況下にあって、老人クラブの果たす役割はますます大きくなっており、感染防止のための「新しい生活様式」を取り入れながら活動を推進し、高齢者の社会的孤立防止やフレイル予防等に取り組むことが求められています。

本大会を契機として、老人クラブのより一層の活性化を図り、安心・安全の住みよい地域づくりに取り組み、明るい長寿社会の実現を期するものとします。

本年は、豊かな自然と歴史、そして伝統産業にはぐくまれためがねのまち、ここ鯖江市において開催いたします。

3．主　催　一般財団法人 福井県老人クラブ連合会

4．共　催　鯖江市老人クラブ連合会

5．後　援　福井県・鯖江市・福井県市長会・福井県町村会
社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
公益財団法人 福井県健康管理協会
社会福祉法人 鯖江市社会福祉協議会
福井新聞社・ＦＢＣ・福井テレビ

6．期　日　令和３年 10 月 20 日（水）

7．会　場　鯖江市文化センター
住所：鯖江市東鯖江 3-7-1　〒 916-0041
電話：(0778) 52-7430

8．参加者　約 450 名（被表彰者含む）

9．日　程

10：00	10：45	11：00	11：30	11：50
受付	開会 式典 表彰 来賓祝辞	休憩	地元 アトラクション	大会宣言	閉会

主催者挨拶

一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
会長　三上　利明

「第 48 回福井県老人クラブ大会」につきましては、県内各市町から会員の皆様を鯖江の地にお迎えし、精一杯のおもてなしの中で開催できるよう、最後の最後まで準備をしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止と皆様の安全・安心を最優先に考えました結果、止む無く中止の決断をするに至りました。

この大会で２年振りの再会を心待ちにしておられました皆様には、大変残念な結果となりましたこと、誠に申し訳なく何卒ご理解とご了承いただきますようお願い申し上げます。

本来ならば、受賞されました皆様には、大会席上において長年の活動に対しまして感謝の意を申し上げるべきところですが、今回も書面にて心からお祝い申し上げます。今後とも、健康には十分留意され、ますますご活躍をされますことをお祈り申し上げます。

さて、戦後、高齢者によるクラブ活動が全国に広がり、本県でも昭和 33 年の「福井県老人会連合会」発足後、各地区においてクラブ結成が相次ぎました。

昭和 37 年の「全国老人クラブ連合会」設立に続き、翌年施行された「老人福祉法」では「老人クラブ」の役割が明記され、年月を重ねて「全老連」は、来年設立 60 周年を迎えます。その間、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに活動してきた結果、「人生 100 年時代」という新たなステージを迎えております。

私たちが、ますます健康で意義ある人生を送るためには、仲間づくりを通して生きがいと健康づくりが必要になってきます。明るい長寿社会や更なる健康福祉の向上を目指すためには、生活を豊かにする楽しい活動や私たちが培ってきた知識や経験を生かして、様々な団体と共同して地域を豊かにする社会活動に参加し、互いに助け合いながら共生していくことにより、その目的を達成することができると思います。

最後になりますが、会員の皆様には各地区において、感染予防に十分留意していただき、元気ある活動と楽しい人生を築かれることを心からお祈り申し上げますとともに、来年は必ず皆様と元気な姿でお会いできることを切に願いまして、ご挨拶といたします。

知事メッセージ

このたび、ご来賓としてご登壇いただき、ご祝辞を予定しておりました知事より、県内の老人クラブ関係者の皆様にメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

福井県知事

杉本　達治

福井県老人クラブの皆様方には、日ごろより地域において健康づくりや奉仕活動に多大なる御尽力をいただいておりますことに心から敬意を表します。

また、このたび、長年にわたる老人クラブ活動の御功績に対しまして感謝状を贈呈させていただきました方々、福井県老人クラブ連合会から各種表彰を受賞されました皆様方にお祝いを申し上げます。

さて、10月20日に開催を予定されていました「第48回福井県老人クラブ大会」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からやむを得ず開催中止となりましたことは大変残念に思います。

昨年から世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染症については、本県におきましても、「感染拡大防止」と「経済再生」の両立に向け全力で取り組んでいるところです。皆様方におかれましても、地域における外出や交流の機会が減少し、心身への影響も懸念されている中、感染防止対策を徹底され、様々な活動を続けられておりますことに厚くお礼申し上げます。今後も県民一丸となり、「チームふくい」でこの危機を乗り越えてまいりたいと思います。

「福井県長期ビジョン」では、『人生100年時代の健康ライフスタイルの推進』を掲げ、フレイル予防やシニア世代の活躍支援を積極的に行っています。また、本県の平均寿命は、男性が81歳、女性が87歳で、今年100歳以上の高齢者は639人と過去最高を更新しており、高齢化・長寿化が進む中、住み慣れた地域で生きがいを感じながら暮らし続けることができる地域づくりは、ますます重要なものとなっています。

老人クラブの皆様方には、今後とも、地域の高齢者の先導役として、スポーツや文化活動をはじめ、見守り・支え合い活動など社会参加の担い手として、さらなる御活躍を期待いたしますとともに、福井県老人クラブ連合会のますますの御発展と会員の皆様の健康長寿をお祈り申し上げます。

令和３年度 老人クラブ育成功労者
知事感謝状被贈呈者

老人クラブ育成功労者（14名）

市　町　名	氏　　名	性　別
福井市	平　馬　菊　子	女
	野　村　昭　一	男
敦賀市	森　　茂　樹	男
小浜市	野　勢　惠　子	女
大野市	石　田　欽　一	男
鯖江市	齋　藤　正　之	男
あわら市	中　嶋　百合子	女
越前市	嵐　　等	男
坂井市	坂野上　幸　枝	女
永平寺町	末　永　義　弘	男
池田町	藤　田　美樹男	男
南越前町	南　　保	男
越前町	原　　榮　子	女
おおい町	今　川　善　雄	男

令和３年度 福井県老人クラブ連合会会長表彰
被表彰者

１.老人クラブ育成指導功労表彰（27名）

市　町　名	氏　　名	性　別	役　　職　　名
福井市	重　久　博　子	女	福井市老連　副会長
	見　谷　武　男	男	(前) 福井市老連　理事
	梅　田　郁　夫	男	昭和町ふれあいクラブ　会長
	辰　巳　千　代	女	昭和町ふれあいクラブ　副会長
	中　出　シゲヲ	女	東郷田治ふれあいクラブ　老人家庭相談員
敦賀市	鹿　山　八重子	女	(前) 敦賀市老連　副会長
	平　岡　　満	男	敦賀市老連　地区理事
	橋　本　幸　夫	男	敦賀市老連　地区理事
小浜市	河　島　　勇	男	(元) 小浜市老連　理事
大野市	起　橋　信　之	男	(元) 大野市老連　理事
	石　森　　昇	男	大野長生会第13クラブ　会長
勝山市	斎　藤　甚三郎	男	(前) 勝山市高連　会長
鯖江市	笠　島　三　男	男	鯖江市老連　副会長
	冨　山　秀　俊	男	鯖江市老連　理事
あわら市	篠　﨑　　巖	男	(元) あわら市老連　理事
越前市	中　窪　純　子	女	越前市シニア連　監事
	入　井　忠　男	男	富士見ヶ丘シニアクラブ　会長
	黒　田　貞　子	女	越前市シニア連　理事

市　町　名	氏　　名	性　別	役　　職　　名
坂 井 市	内　田　義　信	男	坂井市シニア連　副会長
	豊　原　春　雄	男	(元) 坂井市老連　副会長
	坪　田　長兵衛	男	(元) 坂井市老連　理事
永平寺町	和　田　高　枝	女	(前) 永平寺町健康長寿連　会長
池 田 町	相　木　正　勝	男	(元) 池田町老連　会長
南越前町	寺　田　和　義	男	(元) 南越前町老連　理事
越 前 町	仲　保　國　勝	男	(前) 越前町老連　会長
	木 原 松右衛門	男	(元) 越前町老連　会長
おおい町	齊　藤　嘉　子	女	(元) おおい町老連　女性部長

２.優良老人クラブ表彰（6団体）

港町 港寿会

市　町　名	敦賀市	地　　域	港町
代 表 者 名	棗名　隆郎	クラブ結成年月日	昭和34.1.1
会員数(加入率)	51名(33%)	例 会 会 場	川東会館

活動概要：

毎年4～10月まで、地域住民とともに早朝のラジオ体操を実施している。参加意欲を持ってもらうため会員には出欠簿を作成し、会場も海に臨む公園という素晴らしい環境とあって、参加者は毎年延べ2000人を超え、会員のみならず地域住民の健康づくりにも寄与している。また、ラジオ体操の会場となる金ヶ崎緑地公園は、市内の観光地にもなっていることから、草刈り等の奉仕活動を定期的に行い、地域の美化に努めている。

町内の古紙回収を老人クラブで実施しており、住民から喜ばれている。この活動はクラブの財政支援にもなっている。

このように、健康で活力ある地域づくりを目指して、地域と密着した活動を展開している。また、グラウンドゴルフやペタンクで健康増進に努め、友愛精神を基本に、会員相互の親睦やリーダーの育成等を図り、常に老人クラブの活性化に尽力しながら活動している。

内外海地区老人クラブ連合会

市　町　名	小浜市	地　　域	甲ケ崎・若狭・阿納尻・田烏
代 表 者 名	川代　友三	クラブ結成年月日	平成4.4.1
会員数(加入率)	177名(27%)	例 会 会 場	内外海公民館

活動概要：

3単位クラブで結成され、年間を通して活発に活動している。

市内で唯一体育館が併設された公民館を拠点とし、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク等多様なスポーツを行い健康づくりに取り組んでいる。特にスティックリングの普及に力を注いでおり、講習会や体験会を開催し、多くの競技者の育成を図った。

また、郷土料理であるへしこやなれすし等の講習会や食事会には子ども達も参加し、交流を深めるとともに地域の伝統料理の伝承に努めている。

令和2年度は、民生委員や地域団体と連携して積極的にフレイル予防に取り組み、多くの会員がフレイル予防教室に参加するなど、健康長寿推進に努めた。

丸山丸寿会

市　町　名	鯖江市	地　　域	丸山町・神明地区
代 表 者 名	北潟　レイ	クラブ結成年月日	昭和59.4.1
会員数(加入率)	48名(15%)	例 会 会 場	丸山公民館

活動概要：

年間を通して健康活動や奉仕活動に積極的に取り組んでいる。健康活動では、特にワナゲに力を入れており、週1回の練習に多くの会員が参加し、健康づくりと会員相互の親睦を図っている。また、町内の児童と一緒に夏休みラジオ体操を10年以上続けている。

奉仕活動においては、毎年4～9月までの半年間、町内3ヶ所において、会員が交代でゴミステーションに立ち、地域住民に向けて資源ゴミの分別指導を行っている。

老人クラブと地域とのつながりを大切にしており、毎年、地域のまつりや福祉施設が実施する運動会等に参加協力し、運動会では昼食の弁当づくりの手伝いや、入所者と一緒に競技に参加するなど、地域との連携と交流を深めている。

このように、会員の健康増進と地域住民の共生と融和を図るため、永年にわたり積極的に活動を推進している。

定友シニアクラブ

市　町　名	越前市	地　　域	定友町
代 表 者 名	黒田　貞子	クラブ結成年月日	平成12.4.1
会員数(加入率)	62名(73%)	例 会 会 場	定友公民館

活動概要：

コロナ禍にあってもサロン活動を活発に行っており、ワナゲや笑いヨガ、フレイル学習会、紙芝居や工芸品づくりなど多彩な内容を企画し、会員相互の親睦と健康づくりに努めている。また、会員の作詞による会歌をつくり、サロンを行う際には毎回斉唱するなど、会員同士は皆仲が良く、よくまとまっている。

月1回開催する料理教室には男性も参加し、会員が育てた新鮮な野菜を使った弁当をつくり、ふれあいの時を過ごしている。また、年に一度は次世代につなげたい伝承料理を一品必須として家庭料理講習会を開催している。

地区の夏休みラジオ体操の世話役を令和元年度まで務め、「和紙達見守り隊」と銘打って登下校時の児童の見守りを行うなど、積極的に地域活動の推進に努めている。

ゆずり葉の会

市　町　名	永平寺町	地　　域	志比地区
代 表 者 名	長谷川　通世	クラブ結成年月日	昭和33.4.1
会員数(加入率)	66名(30%)	例 会 会 場	志比公民館

活動概要：

会員減少に歯止めをかけるべく、これからのクラブ(会)の在り方を考え、クラブ名称の変更や事業の見直し、役員の若返りなど会の運営体制の刷新を図った。

活動においては、年齢、体力に合わせて楽しめるように、文化・娯楽・スポーツ等多種多様な同好会やクラブを立ち上げ組織化した。さらに、会員証と名札を兼ねた「レインボーワッペン」を作成し、活動に参加する毎にポイントとして七色シールを貼付するなどユニークな事業を立ち上げ、活動への参加を促している。一人年に7回以上の参加を目標とし、ポイントの運用については現在検討中である。

また、地区の65歳以上の未加入者全員に、担当の班員が手分けして一人ひとり宛名入りの案内状を持って戸別訪問し、クラブの活動内容等について説明しながら勧誘を行った。

このような取り組みが功を奏し、今年度23名の会員増を果たした。

気比庄福寿会

市　町　名	越前町	地　　域	気比庄・馬場
代 表 者 名	前原　貞一	クラブ結成年月日	昭和41.4.1
会員数(加入率)	89名(59%)	例 会 会 場	気比庄公民館

活動概要：

会員の健康増進と会員相互の親睦を第一に活動を推進している。健康活動では、夏休みラジオ体操、ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフ、町考案の「つるかめ体操」等多様に取り組み健康づくりを図っている。

地域の「子ども安心ネットワークパトロール」に参加して、毎月2回、区内2ヶ所で下校見守りボランティアを行い子ども達の安全を守っている。また、美化活動にも積極的に取り組んでおり、花壇づくりにおいては、地域の花壇コンクールで最優秀賞を受賞した。

コロナ感染防止のため、いち早く全会員に除菌スプレーを配布するなど、会員同士思いやりが深く結束も固い。

令和2年度においては、活動の中止や縮小を余儀なくされたが、新規会員勧誘に役員等が尽力し、5名の会員純増を果たした。

令和3年度『活動賞』

○全国老人クラブ連合会会長表彰（1団体）

堀川いきいきシニアクラブ

市　町　名	越前市	結成区域	堀川町・東地区		
代表者名	北畑　英子	クラブ結成年月	平成23年4月	会員数（クラブ数）	48名

活動概要：【地域交流活動】

平成24年、地域住民が気軽に集える場として、地域の「ふれあい会館」に「ふれあいカフェ」をオープンした。カフェは、毎月第3土曜日、会員が運営しており、地域の高齢者を中心に毎回20名程が来店され、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいる。虚弱等でカフェに来られない高齢者の方には、女性会員を中心とした「エプロン隊」が見守りを兼ねて自宅を訪問し、話し相手となっている。

また、毎月第4日曜日を「三世代ふれあいの日」とし、同会館で三世代交流を行っている。会長をはじめとする女性5名が主に世話役となり、季節の行事を取り入れた流しそうめんやそば打ち、クリスマス会、紙芝居や手遊び、ピザづくりや自分好みのコーヒーカップをつくるポーセラーツなど、多彩な内容を企画し参加者に楽しんでもらっている。地域の婦人会、子ども会にチラシを配布して参加者を募っており、参加者は毎回30～40名程。参加費は材料費としていただいている。

このような地域との交流は、会員自身の意欲向上にもつながり、地域住民に老人クラブ活動を知ってもらうきっかけにもなっている。特にミドル世代に活動を知ってもらうことで老人クラブへの理解を深め、シニア世代になったときに入会しやすい状況をつくっている。

会員増強運動表彰

○10名以上純増クラブ(6団体)　＜期間:令和2年4月1日～令和3年4月1日＞

市　町　名	単　位　ク　ラ　ブ　名	R2 会員数(名)	R3 会員数(名)	対前年増 会員数(名)
福　井　市	稲津稲寿会	45	58	13
鯖　江　市	西鳥羽 青寿会	36	46	10
坂　井　市	京町いきいきクラブ	65	188	123
永 平 寺 町	ゆずり葉の会	43	66	23
南 越 前 町	西大道シルバークラブ	80	90	10
越　前　町	大樟クラブ	73	88	15

○5～9名純増クラブ(20団体)　＜期間:令和2年4月1日～令和3年4月1日＞

市　町　名	単　位　ク　ラ　ブ　名	R2 会員数(名)	R3 会員数(名)	対前年増 会員数(名)
福　井　市	寺前陽老会	45	52	7
	茱崎老人クラブ	31	37	6
	令和会	32	37	5
敦　賀　市	松島町・2丁目 白鷺会	60	69	9
	横浜 浜寿老人クラブ	47	54	7
	東郷 横椋会	35	40	5
大　野　市	下庄長寿会清滝クラブ	59	67	8
	富田高砂会第5クラブ	24	31	7
	大野長生会第11クラブ	42	48	6
	大野長生会第13クラブ	60	66	6
鯖　江　市	屋形町 寿クラブ	47	54	7
あ わ ら市	西温泉長寿会	41	50	9
越　前　市	北新庄シニアクラブA	71	80	9
	さくら会	50	55	5
坂　井　市	東部和老会	128	134	6
	和老第三クラブ	38	43	5
永 平 寺 町	御陵第1健康クラブ	38	46	8
南 越 前 町	脇本シルバークラブ	72	78	6
越　前　町	気比庄福寿会	84	89	5
若　狭　町	北前川老人クラブ	58	66	8

大　会　宣　言

高齢者や子ども、障がいのある人々など、誰もが意欲と自らの能力に応じて役割を担い、住み慣れた地域でお互いに支え合いながら、生きがいを持って安心して暮らすことができる「地域共生社会」を実現することが、少子高齢化や人口減少が加速化しているわが国が目指すべき方向であります。

私たち老人クラブもその実現に向け、当事者として、また地域社会の一員として行政や地域団体などの様々な組織と連携しながら、健康づくりや友愛活動などを通じて介護予防や高齢者の見守り、日常的な生活支援に取り組んできました。

しかしながら、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、私たちの老人クラブ活動に様々な制約が課せられることはもとより、生活そのものにも自粛が求められるなど、これまで経験したことのない災禍の中にあります。

こうした状況下にあっても感染防止対策を徹底した「新しい生活様式」を取り入れながら、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、これまでの豊富な経験や知識を踏まえた創意工夫により、多様なクラブ活動を推進することがこれまで以上に期待されています。

こうした期待に応えるためには、クラブ活動の源となる会員数の維持・増強も極めて重要な課題であります。

私たち老人クラブ会員は、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

一、　老人クラブ活動の基盤となる会員増強への取り組み

一、　高齢者の暮らしを支える「新地域支援活動」への参画

一、　健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」の充実

一、　消費者被害防止に向けた活動の実践

一、　高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

令和３年 10 月 20 日

第 48 回 福井県老人クラブ大会

※第 48 回福井県老人クラブ大会は、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、開催を中止することになりました。大会において参加者の決議を得ることは叶いませんでしたが、大会関係者へ配布することにより採択があったものとさせていただきます。